



八幡小だより

北九州市立八幡小学校
校長 田頭 麗宏



雨の中に 立春大吉の 光あり 高浜 虚子



今年の立春は、124年ぶりに2月3日です。当然、節分は2日になるので、明日豆まきをする「あれ、今日だったっけ」と鬼が驚くかもしれませんね。

1月は、本格的な春の訪れを思わせる陽気の日がある一方、何度か寒波の襲来もありました。体調管理が難しい時期ではありますが、引き続きよろしくお願いたします。まだ緊急事態宣言下ですが、立春を機に明るい光が差し始めることを願っています。

さて、2月から3月はじめにかけては、卒業生（今年の卒業証書授与式は、3月17日）と在校生とがお互いに「後をお願いします」「後をしっかり受け継ぎます」と気持ちを伝え合う時期となります。お互いの感謝の気持ちを大切にしながら、次の学年への心がまえをしっかりとつくりたいと考えています。



可能な形で取り組みました

体力アップ週間（1/18～29）

密にならず、マスクをつけたまま活動することを考え、本年度は「短なわとび」だけに行いました。寒い中、よくがんばりました。



給食週間（1/25～29）

全児童から給食調理士さんに謝意を伝えました。毎年、参加者であられる「感謝の会」は、本年度人数を制限して実施しました。



新1年生入学説明会（1/27）



同時に行う予定の「体験入学」ができなかったため、新2年生が新1年生にメッセージカードを準備し、会場を飾りつけました。

児童の陽性が判明した際の公表は…

緊急事態宣言に伴う措置も、予定通りなら残り一週間となりましたが、小学生を含め市内の感染者はなかなか減りません。予断を許さない状況は続いていますので、健康チェックなどの徹底をよろしくお願いいたします。

さて、小学生が陽性となった際に、「学校名」が公表される場合とされない場合があります。その基準は「該当する子どもが感染可能期間に登校していれば学校名を公表する」というのが原則とのことです。感染可能期間は保健所が判断しますが、もし、本校の子どもが陽性となったとしても、発症時からさかのぼって学校に一定期間登校していないと判断されれば、学校名は公表されません。そうした場合、多くの学校では教員による消毒後、通常通り学校を開いています。また、広くお知らせをすることもありません。本校も同様の対応をすることになると思います。

先月中旬に、八幡東区役所下交差点付近のビル解体工事に伴い、通学路を一時的に変更しました。この件で、業者と話し合ったところ、今から本格的な解体が始まり、がれき搬出のために大型トラックの出入りが激しくなることでした。



通学路変更、継続します

